

支部だより

Newsletter No.56

広報委員会

(一社)日本道路建設業協会
中部支部

〒460-0003

名古屋市中区錦三丁目7番9号
(太陽生命名古屋第2ビル8F)

TEL.052-971-5310

道の駅とよはし

迎春





目次

支部長 新年挨拶	1
幹事長 新年挨拶	1
中部地方整備局長 新年挨拶	2
中部支部 第71回 定時総会	3
中部地方整備局との意見交換会(本部・支部合同)	4
令和元年度 中部支部役員・委員会紹介	5
中部地方整備局との意見交換会(支部)	5
サクラだより	6
ICT舗装工事現場見学会(浜松・沼津)	8
i-Construction技術講習会の開催	8
建設技術フェア2019in中部(学生ひろば)	9
道路建設技術講演会	9
建設キャリアアップシステム講習会	10
舗装施工管理技術者講習会	10
コンプライアンス(独占禁止法)講習会	11
アスファルト舗装技術に関する講習会	11
安全パトロール(安全委員会)	12
中部緊急防災協会通常総会・令和元年度役員紹介	13
中部緊急防災隊式典	14
防災訓練	15
中日本高速道路名古屋支社から安全パトロールに感謝状の贈呈	16
日本道路協会道路功労者表彰伝達式	16
「道の駅」小型発電機の贈呈	16
会員だより・編集後記	17
道路開通・三遠南信自動車道 飯喬道路	

■表紙写真

国土交通省「道の駅」シリーズ
国道23号・県道406号

とよはし

路線名 国道23号・県道406号

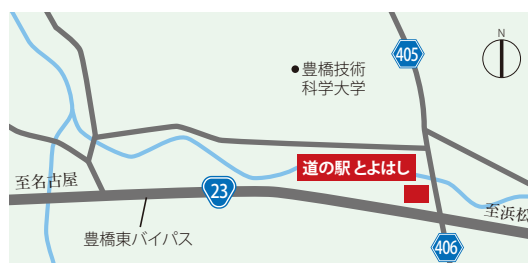
営業時間 9:00～19:00 (Tomate)
9:00～18:00 (食彩村花マルシェ
あぐりパーク食彩村)

駐車台数 普通車82台、大型車170台、障がい者用6台

休館日 年中無休 (Tomate)
毎月第1水曜日休み (食彩村花マルシェ、あぐりパーク食彩村)

駅長からのメッセージ

地元のこだわり食材を使った飲食店や特産品を扱うショップが入居する「Tomate」と旬の農産物を取り揃える「あぐりパーク食彩村」を核に豊橋の食と農業の魅力を体感できます。



ここがポイント!

あぐりパーク食彩村に加え、
食と農にスポットを当てた
Tomateがオープン。

新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。

支部会員各社の皆様には健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は支部事業活動に対し、多大なご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、昨年5月1日に126代徳仁天皇が即位され、平成から令和へ改元されました。改元前後には31年間にわたる平成の時代はどのような時代であったのか？ いろいろな報道がありました。個人的には上皇さまが退位される前年12月の記者会見で述べられた「平成が戦争のない時代として終わろうとしていることに、心から安堵しています」この言葉が印象的に残っています。令和も戦争のない平和な時代が続いて欲しいと心からそう思います。

一方で平成の時代に我々は大きな震災を2度経験いたしました。最初が平成7年1月17日に発生しました阪神淡路大震災、そして二度目が平成23年3月11日の東日本大震災です。予想を超える大きな自然災害の前に、我々はなんと無力なのか改めて痛感させられました。令和の時代に入りましても昨年10月12日に上陸しました台風19号及びその後の低気圧による集中豪雨で関東、東北他1都12県で甚大な被害が発生いたしました。ここ数年台風、集中豪雨での災害が頻発し激甚化しています。災害時の緊急対応、復旧、復興、災害に強い強靱な国土造り等我々建設業に期待される役割は益々大きくなっております。

歯止めのかからない建設技能労働者の減少、慢性的な技術者不足、生産性の向上等、解決しなければならぬ課題も山積しております。昨年に引き続き本年も『道路建設業における働き方改革』にしっかりと取り組んで参ります。

支部会員の皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。結びに、支部会員各社の、益々のご隆盛と皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



支部長
福島 憲二
(株式会社NIPPO 中部支店 常務執行役員支店長)



新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様におかれましては、晴れやかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

令和時代最初の年明けを迎え、いよいよ東京オリンピック、パラリンピックが7月から開催されます。関連した工事が進んでいますが、新東名6車線化に代表される道路整備事業も佳境に入ります。工事に携わるすべての関係者が、無事安全に竣工を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。

中部支部におきましては、一昨年から取り組んでいます「働き方改革」の根幹であります長時間労働の是正(自主規制)と週休二日制の実現の二項目が徐々に成果をあげてきております。しかし、まだまだ先は長く、第2土曜日、第4土曜日完全閉所活動を代表するように、その実現には地道な取り組みと積極的な挑戦が必要なことは否めません。担い手確保のためにも、「働き方改革」のスピードを緩めるわけにはいきません。皆様方の一層のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

また、「コンプライアンス体制確立の支援」に関しても、日本道路建設業協会本部と緊密な連携を取り、例年どおり各種講演会の開催及び運営に尽力してまいります。

結びに、支部会員各位ならびに関係各位にとりまして、今年も良い一年となりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



幹事長
南上 彰恭
(世紀東急工業株式会社 名古屋支店 常務執行役員支店長)

新年 挨拶



国土交通省
中部地方整備局長
勢田 昌功

令和2年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日本道路建設業協会中部支部の皆様方におかれましては、旧年中、中部地方整備局の事業の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、日頃より災害対応や支援活動はもとより、戦略的な維持管理・更新、週休二日制の実現、i-Constructionなど、様々な取り組みに連携・ご協力頂いていますことを改めまして感謝申し上げます。

昨年は、台風第19号などの度重なる豪雨や台風によって、広い範囲で甚大な被害が生じました。当整備局管内においては、幸いにも時間降雨量が大きくなく、堤防決壊に至るような甚大な被害はありませんでしたが、各地で浸水等の被害が生じ、改めて社会基盤の整備の重要性を認識させられました。

大規模災害リスクへの対応や巨大な産業活動を支えるためには、中部地域の道路等の社会基盤の充実・強化を着実に進めていくことが不可欠であり、そのためには、社会資本の担い手として、また災害時の地域の守り手として、社会資本整備の現場に精通されている皆様方の高い技術力と経験、そして気概と活力が何よりも必要です。

当整備局では、貴協会と一体となって地域の安全・安心と更なる発展に向け全力で取り組んで参りますので、今後もますますのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展と会員皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。





第71回 定時総会

日本道路建設業協会中部支部は5月29日、メルパルク名古屋で第71回定時総会を開き、平成30年度事業報告・決算を可決承認し、平成31年度の事業計画と収支予算などを報告しました。

議事に先立ち本部役員出席のもと、協会表彰式が行われ、技能功労者に西田義則会長から表彰状が授与されました。

総会の挨拶で福島支部長は「担い手の確保・育成が喫緊の課題。魅力ある建設業界にするため、危

機感をもって取り組む」とし「昨年立ち上げた働き方改革実行委員会を中心に長時間労働の是正、4週8休の実現を目指す。本年度は特に、第2土曜日の現場閉所、ICT舗装、女性活躍現場の支援に力を入れる」と述べた。また、本部の西田会長は「社会に貢献し業界の健全な発展を図るため建設キャリアアップシステム、特定技能外国人の受け入れ、防災・減災3カ年緊急対策にも積極的に対応する」と述べられました。



福島支部長 挨拶



表彰授賞の皆様

中部地方整備局 中日本高速道路(株)名古屋支社との意見交換会(本部・支部合同)



支部総会に先立ち、中部地方整備局、中日本高速道路(株)名古屋支社、日本道路建設業協会との意見交換会を開催しました。中部地方整備局からは勢田局長を始め11名、中日本高速道路(株)名古屋支社から村田環境・技術管理部長他1名、道建協本部から西田会長を始め13名、中部支部から福島支部長を始め19名が出席しました。

本部西田会長から、7年連続した労務単価の引き上げ、10年ぶりの低入札価格調査基準の改訂、大幅な道路関係予算の増額など諸施策に対してのお礼に続き、働き方改革とi-Constructionについて、時間外労働時間の段階的な削減、週休二日制の拡大、ICTや新技術の活用による生産性の向上、技能労働者の賃金水準の確保などに積極的に取り組んでいくと挨拶がありました。

勢田中部地方整備局長からは、防災・減災・国土強靱化のための3ヶ年緊急対策による道路関係予算の大幅な増額となったこと、また、担い手不足と働き方改革について労働環境の改善と生産性向上が大きなテーマであり検討を進めていくこと、さらには、「新担い手3法」で発注者責任が謳われており受発注者相互で様々な課題を解決していかなければならない新しい時代になった。と挨拶されました。

意見交換会では、適正な工期の設定、道路舗装における労働環境の改善、書類の簡素化・合理化の推進、現場の監督員等に週休二日制の環境整備等を要請し、また、道路舗装工事におけるi-Constructionの

推進と普及について発注規模や合理的な施工、出来形管理費用の適正化を求めました。

これに対し整備局からは、週休二日に取り組む際の必要経費、適切な工期の確保、発注時の条件明示についての取組、工事書類提出要領の改訂、担い手確保等の観点から施工時期の平準化、週休二日工事の実施について重点的に取り組んでいくとの回答がありました。

自由討議においては、中日本高速の働き方改革の取り組み状況について質問し、週休二日制モデル工事の開始と工期設定では、国土交通省と同様な取り組みの実施、工期策定の手引きを公開していると回答がありました。

最後に、西田会長から労働環境の悪化と担い手の確保には逼迫感を持っています。本日の意見交換の内容を協会員全員に周知し、更なる活動を進めていきます。と挨拶があり、意見交換会は終了しました。



中部地方整備局
勢田局長



日本道路建設業協会
西田会長

令和元年度中部支部役員・委員会紹介

■支部役員

役員	氏名	会社名	役職
支部長	福島憲二	株式会社NIPPO中部支店	常務執行役員支店長
幹事長	淵上彰恭	世紀東急工業株式会社名古屋支店	常務執行役員支店長
幹事	飯塚俊秋	福田道路株式会社中部支店	執行役員支店長
〃	奥村宏	日本道路株式会社中部支店	支店長
〃	川中喜雄	大有建設株式会社	代表取締役社長
〃	國島太佳生	株式会社市川工務店	取締役営業部長
〃	鈴木克也	大成口テック株式会社中部支社	理事 支社長
〃	高畑一幸	株式会社佐藤渡辺中部支店	支店長
〃	土屋聡	前田道路株式会社中部支店	常務執行役員支店長
〃	永田徹也	鹿島道路株式会社中部支店	執行役員支店長
〃	難波陽一	中部土木株式会社	代表取締役社長
〃	秦純二	朝日土木株式会社	代表取締役社長
〃	平井美次	中村建設株式会社	常務取締役
〃	松居広	岐建株式会社	取締役営業本部長
〃	松村高志	東亜道路工業株式会社中部支社	常務執行役員支社長
〃	森俊二	大林道路株式会社中部支店	執行役員支店長
〃	山本正樹	株式会社ガイアート中部支店	執行役員常務支店長
会計監事	大高圭介	花菱建設株式会社	専務取締役
〃	蓮井肇	三井住建道路株式会社中部支店	執行役員支店長
顧問	花木道治	東亜道路工業株式会社中部支社	副支社長

■委員会:委員長・副委員長

委員会名	委員長	副委員長
企画運営委員会 作業部会	福島憲二	淵上彰恭
	花木道治	渡邊光吉
働き方改革 実行委員会	森俊二	奥村宏
		高畑一幸
建設コスト委員会	鈴木克也	奥村宏
環境委員会	土屋聡	飯塚俊秋
技術委員会	永田徹也	森俊二
安全委員会	山本正樹	高畑一幸
広報委員会	松村高志	水口孝
防災委員会	淵上彰恭	水口孝



中部地方整備局との意見交換会（支部）

中部地方整備局の実務担当者とは日本道路建設業協会中部支部との意見交換会を11月25日にKKRホテル名古屋で開催しました。中部地方整備局からは稲葉技術調整管理官を始め15名、中部支部から福島支部長を始め20名が出席し実務者による活発な意見交換を行いました。

意見交換会では、道路予算の長期安定的確保、発注規模の大型化、適切な条件明示、工期設定、契約変更の対応、適切な関係者調整の実施、台風等による工事看板の撤去・設置、積算歩掛の見直し、検査書類及び工事関係書類の簡素化・合理化、中間技術検査の見直し、監督補助を行う現場技術員の対応、週休二日制工事の実施及び時間外労働時間の縮減、i-Constructionの推進と普及等について意見を求めました。

これに対し中部地方整備局からは、道路予算は横ばい傾向の中、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策へ重点配分されて増加しており、今後も必要な予算確保に要求をしていくと話がありました。受注機会、発注規模、条件明示の考え方の説明、工期設定は週休2日を実施する上でも重要で本省通知、工期設定支援システムを活用していくと回答がありました。

自由討議では、災害派遣要請で現地到着後、要請元の指示がなく待機が続いたので、指示系統の確立を求めたことに対し、防災ラインへの周知徹底を図るとの回答がありました。このほか、変更協議・条件明示等細部について具体事例を基に様々な意見交換を行うことができました。

サクラだより

SAKURA DAYORI

取材班
メンバー
紹介

上田千秀緑 大林道路株式会社 中部支店
尾崎由美子 株式会社佐藤渡辺 中部支店
原田夕子 株式会社NIPPO 中部支店
畔地真美 日本道路株式会社 中部支店
渡邊麻香 (一社)日本道路建設業協会 中部支部

今回は3名の **みちサクラさん** (道路業界で働く女性)をご紹介します。

サクラ前線 ～前線で輝く女性のリアルな姿をご紹介します～

今回お邪魔した現場は **鹿島道路株式会社 東海環状自動車道関広見舗装工事事務所** です。



監理技術者 小川 みなこ さん

職歴(入社6年目)

アスファルト合材の品質管理→土質・現場試験→情報化施工→土木
構造物の設計及び照査→造成・排水・外構設計に係る業務→現現場

休日の過ごし方 普段は旦那さんとお買い物をし、食事を作って家でまったり。長期休暇には国内外へ旅行。スキューバダイビングの免許も持っています!!

この仕事を選んだきっかけ

大学時代に起きた東日本大震災を受け、復興ボランティアに参加。その際に道路の重要性を感じたため。

将来のビジョン

お手本とされる上司になりたい。これからこの業界に入ってくる後輩の苦勞が少しでも減るよう、なんでも相談に乗ってあげられるようになりたい。



構造物担当 須崎 沙也果 さん

職歴(入社6年目)

アスファルトプラント(5年)→現現場

休日の過ごし方 休日はビデオ鑑賞。最近ではスマホアプリのダーツで旅の行先・プランを決定して旅行に行くことも★

この仕事を選んだきっかけ

東日本大震災の復興作業をテレビで見てこの業界で働くことを決めた。また、舗装関係の仕事は安定した仕事だと感じたため。

将来のビジョン

ロールモデルとなれるような存在に。この業界で女性がもっと活躍できるように、影響力のある存在になりたい。



舗装担当 鶴見 沙耶香 さん

職歴(入社3年目)

支店にて設計業務(4ヶ月)→試験所での試験業務(1年4ヶ月)
→現現場

休日の過ごし方 趣味はピアノ・絵描き。休日は家事をしている。夜ご飯を少し贅沢に作ってDVD鑑賞をしながら晩酌するのが楽しみ♥

この仕事を選んだきっかけ

建設業で働く父に憧れ工業高校へ進学。建築土木科で学ぶうちに土木に携わりたいという気持ちが強くなったため。

将来のビジョン

今後現場で活躍する女性のためにも、今はこの現場を成功させ、更なる”女性が働きやすい現場”を確立させていきたい。

みちサクラさんへ ～メッセージをいただきました～



村田副所長

ここは女性が働くモデルケースの現場として会社が力を入れているので設備が整っています。よって皆一生懸命仕事してくれているので嬉しいです。困ったことがあれば相談してもらってストレスをためない毎日を過ごしてほしいです。この現場が完成した時にモノづくりの楽しさや達成感を感じてもらえれば成功かなと思っています。

女性社員に対して特段気を使うことはないです。男性社員だけだと気付けなかった改善点を挙げてくれ感謝しています。明るい職場づくりに努めており、他の作業員や発注者さんからも好評です。



磯谷所長

教えて! みちサクラさん ~気になるアレコレをズバリきいてみました~



Q. 実際に働いて感じたギャップはありますか?

- A. 3Kといわれていて不安だった…
 → そんなことはなく明るい現場で、特に安全に対してはみんな
 で気を配っている。
- A. ピリピリして夜中まで残業しているイメージ…
 → 皆仲が良く仕事を分担して進めているので残業も少ない。
- A. 現場の人たちは怖い人ばかり…?
 → 作業員、監督、皆仲が良く陽気で明るい方が多い。ただ…
 やはり女性は少ない。

Q. 遠慮・誤解されていると思う事はありますか?

- A. 遠慮されているところはたくさんあると思いますが、それを感じ
 させない様気を使っていたのだと思います。
 入社した当時は、結婚して辞めてしまうのだらうと誤解され
 ていると感じることもありましたが、結婚しても変わらず働い
 ている人もいますので、女性も人それぞれだということに分
 かってもらえてきたのかなと思います。
 また、女性に対して「話しかけるだけでセクハラ」といった認
 識があるのか、なかなかコミュニケーションが取り辛い場面
 があります。あまり男女の壁を作らずに接してもらえると嬉し
 いです。

Q. 労働環境で改善してほしいことはありますか?

- A. 特にありません。この現場は大きい現場なので労働環境が
 整っています。現実的にはすべての現場となると費用がかかってくる
 ため難しいと思いますが、標準化さ
 れていくといいなと思います。また、
 「女性だけ羨ましい」という男性側
 の意見がありますので、男性側も
 改善され同じように働きやすい環
 境になってほしいです。



Q. 今後現場で働く女性を増やしていくためには?

- A. ライフワークバランスの充実化、個人の家庭環境にあった就
 業時間、業務内容にシフトできる
 制度を取り入れる。また、環境が
 整っていない頃の情報が広まって
 いることでこの業界で働くことを諦
 めている人が多いと思います。変
 化している土木業界の現状をPR
 していけば女性技術者が増えてい
 くのではないかと思います。



Q. 同じ業界で働く女性へメッセージをお願いします!

- A. これからの後輩たちのためにも私たちがここで力を合わせて現場の改革をしていかなければいけない
 と思うので、一緒にがんばれたらと思います。また、女性と一緒に働くことで男性の職場環境も改善される
 と思うので皆さんで男女ともに働きやすい環境を作っていきましょう!



You must buy!

みちサクラさん オススメのアイテムを紹介!



小川さんおすすめ!

トマトジュース

ビタミンCによる
美白効果★



須崎さんおすすめ!

ジョンソンボディケア
ドリーミースキン
アロマハンドクリーム

アロマに包まれ
うるおった美しい手肌へ★

鶴見さんおすすめ!

MAYBELLINE NEW YORK
ブロウインク ジェルティント

汗をかいても落ちない★

最後に

インタビューでは、結婚後は仕事と家庭を両立するた
 めに試験業務や内業へ将来的には落ち着きたいと思
 う一方、今と同じように現場で働きたいという思いも
 ある、といった女性ならではの悩みも挙げられました。
 このように一人では解決できない疑問や不安をこの
 サクラだよりを通じて発信していき、さらに女性同士
 直接悩みを相談できる機会を今後設けたいと思っ
 ています。

みちサクラがますます輝けるよう、これからも取材班
 一同応援していきます!今回取材にご協力いただいた
 皆様、ありがとうございました!

ICT舗装工事現場見学会 (浜松)

本部のi-Pavement推進本部では、2017年度からICT舗装工事が直轄工事で導入されたことを受けICT舗装技術の普及に現場見学会を全国各地で開催しています。

中部支部では、10月1日に中部地方整備局浜松河川国道事務所と共催で平成30年度1号島田金谷菊川IC舗装工事(フジタ道路(株)名古屋支店施工)において30名が参加し、現地事務所でICT舗装工の講習会と現場の施工状況を視察しました。

午前の講習は、浜松河川国道事務所大口副所長

から事務所事業とICTの取組について紹介があり、工事関係者から工事概要、3次元施工測量及び設計データ作成と建設機械の説明を行いました。

午後からは施工現場でMCグレーダーとTS出来形管理・レーザースキャナーを用いた測量の説明を行いました。

見学会終了後は、参加者間でICTの活用の現状について意見交換を行った後、安全教育でヒヤリハットをVRで体験して現場見学会を終了しました。

ICT舗装工事現場見学会 (沼津)

働き方改革実行委員会では、情報化施工のICT舗装技術の普及推進に現場見学会を開催しています。

11月21日に中部地方整備局沼津河川国道事務所と共催で平成30年度1号笹原山中バイパス谷田地区舗装工事(大林道路(株)中部支店施工)において30名が参加しました。

午前中は、現場事務所で座学を行い、大林道路株式会社森支店長から新しい技術の普及に会社を挙げて取り組んでいる。皆さんと情報を共有して課題を解決していきたいと挨拶があり、続いて、沼津

河川国道事務所桜田工事品質管理官から中部地方整備局における生産性向上の推進と事務所のITC活用工事の取組状況について説明があり、施工担当者からはICT活用工事のポイントや使用機器、ソフトウェア、出来形管理の説明を行いました。

午後からは、自動追尾のTSとMCグレーダーによる施工実演、3D出来形管理の概要やデモを見学しました。再度現場事務所においてTLSを用いた出来形管理(面管理)について改めて説明を行い現場見学会を終了しました。



日本道路建設業協会中部支部では、中部地方整備局中部技術事務所と共催で技術者に向けた情報提供の一環として建設技術者育成に「i-Construction技術講習会」を開催し、舗装の情報化施工技術、TLSによる測量と出来形管理等について習得することを目的に広く一般にも参加を募り実施しました。

講習会は、中部地方整備局からi-Constructionの取組について、本部技術委員から舗装の情報化

施工技術について、(一社)日本測量機器工業会からTLSを使った3D測量の現地講習、ソフトウェアによるデータ処理、出来形帳票の作成の実演等を行い、測量、設計・施工計画、施工、検査の各段階での効率化を図る講義を行いました。

第1回の5月15日の参加は30名でしたが定員の3倍の応募があり、急遽、第2回を開催することとなり、10月10日の第2回には36名が参加して実施しました。

建設技術フェア2019in中部 (学生ひろば)

今年で23回目となる「建設技術フェア2019in中部」が10月16日と17日の2日間、吹上ホールで開催されました。

当フェアでは、主催企画を「建設業の未来を支えるi-Construction関連技術」とし、6分野243企業・団体の技術展示やインフラメンテナンスにおける新技術導入促進・自治体支援の取組等の講演会、災害対策車両展示、学生交流ひろばなど、多彩なイベントが行われました。

二日間の来場者は14,885人と多数の方に来て頂き、盛況のうちに終了しました。

当協会も「学生交流ひろば」にブースを設置し、建設業に興味のある学生の皆さんに道路建設の仕事や技術、また、道路業界の現状と今後の方向性などを分かりやすく説明しました。

今年も将来の担い手となる学生の皆さんと直接交流し、参考となる情報を提供することが出来ました。



建設技術フェア2019in中部 会場



学生交流ひろば (道建協ブース)

道路建設技術講演会

道路建設技術講演会を日本道路建設業協会中部支部主催で11月13日に名古屋市の東文化小劇場にて開催いたしました。

会員企業などから約250人が参加し、中部の道路事業や南海トラフ地震への備え、新しい時代の交通とまちづくりに関する講演が行われました。

冒頭、福島支部長は「働き方改革や生産性向上に対応し、新3K(給料・休暇・希望)の実現を目指

し、本日の講演を技術の向上につなげてほしい。」と述べました。

講演会は最初に、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所の森川高行教授が『移動インベーションと道・街・社会の変化』次に、愛知工業大学工学部土木工学科の横田崇教授・地域防災研究センター長が『南海トラフ地震に備える～BCPとLCPのすすめ～』最後に、国土交通省中部地方整備局の高須博幸道路情報管理官が『中部の道路事業について』をテーマに講演いたしました。



福島支部長 挨拶



森川名古屋大学教授



横田愛知工業大学教授



高須道路情報管理官



洲上幹事長 挨拶

建設キャリアアップシステム講習会



日本道路建設業協会では、今年度から建設キャリアアップシステムの推進を決定し、各支部で講習会を実施しました。中部支部では、9月18日に名古屋ガーデンパレスで建設キャリアアップシステム講習会を開催し、約60名が受講しました。

講師の村上建設業振興基金建設キャリアアップシステム事業本部指導役が、担い手の確保、職人や作業員に処遇改善などを目的として、2019年度から同シ

ステムの本運用が開始したことを紹介し、システムの概要、登録申請の方法、利用料と支払い、システム画面の閲覧、民間システムとの連携、利用手順の流れ、システム利用規約などを解説しました。



講師：村上義雄氏

舗装施工管理技術者講習会

日本道路建設業協会中部支部は8月28日に舗装施工管理技術者技術講習をナディアパークデザインホールで開催し、会員企業などから約160人が参加、舗装技術の動向や関連制度などを学びました。

冒頭、福島支部長から「舗装施工管理技術者資格試験制度は舗装工事に携わる技術者の技術水準と能力を適切に評価し、より水準の高い安定した舗装工事の施工を図ることを目的としている。最近の舗装

技術の習得と技術向上のため、実のある講習にしてほしい」と挨拶がありました。

続いて、高須博幸中部地方整備局道路部道路情報管理官が「舗装事業をめぐる社会・経済情勢と各種制度」をテーマに講演しました。本部技術委員の中村則義氏が「舗装工事の安全対策」と「建設副産物対策」、向後憲一氏が「最近の舗装技術の動向」をそれぞれ解説しました。



福島支部長 挨拶



高須道路情報管理官



中村本部技術委員



向後本部技術委員

コンプライアンス(独占禁止法)講習会



日本道路建設業協会では、2017年度からコンプライアンスに関する講習会を実施し、独占禁止法、労働基準法、暴力団排除について講習会を開催しています。

中部支部においては10月2日に独占禁止法について名古屋ガーデンパレスで実施しました。講習会には、(公財)公正取引協会から講師を招き「独占禁

止法の遵守のために」をテーマに独禁法の概要、違反行為の事例・処分、今年の法改正などについて講義を行い、75名が受講しました。

コンプライアンスは直面している問題で、企業倫理の確立や法令順守を徹底し、社会から信頼される業界になるためにも今後の活動に活かしていくことを改めて確認できました。

アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会 (一社)日本道路建設業協会中部支部

愛知県アスファルト合材協会と日本道路建設業協会中部支部は7月2日に名古屋ガーデンパレスでアスファルト舗装技術に関する講習会を開催し、会員企業より160名が参加して最新の舗装技術を学びました。

冒頭、愛知県アスファルト合材協会の櫻井正典担当理事が「国民の生活を支える基礎的インフラである道路機能を維持する必要がある。講習会で学んだ技術や知識を現場でいかしていただきたい」と挨拶されました。

講習会では4名の講師によりアスファルト舗装に関する専門的な講習を行いました。最後に質疑応答が行われ、閉会の挨拶を中部支部の宗里宏行環境委員会委員が述べられ講習会は終了しました。



安全パトロール（安全委員会）

安全委員会では、国土交通省中部地方整備局及びNEXCO中日本発注工事の現場において安全パトロールを実施しています。安全パトロールでは、工事概要説明を受けてから安全点検を実施、最後に良好な事項と是正する事項について報告した後、全体の講評を行い安全対策の更なるレベルアップを図っています。

● 第1回 令和元年5月14日(火)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 東名阪・名二環リフレッシュ工事
工事名等 名古屋管内舗装補修工事 三井住建道路(株)
桑名管内舗装補修工事 大有建設(株)
桑名管内維持修繕業務 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
参加者 16名



東名阪リフレッシュ工事

● 第2回 令和元年6月4日(火)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 名神高速道路集中工事
工事名等 羽島管内舗装補修工事 日本道路(株)
関ヶ原～八日市間舗装補修工事 (株)NIPPO
彦根管内維持修繕業務 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
参加者 19名



名神高速道路集中工事

● 第3回 令和元年10月17日(木)

実施場所 中部地方整備局 高山国道事務所 R41石浦バイパス
工事名等 宮峠トンネル舗装工事 鹿島道路(株)
参加者 12名



宮峠トンネル舗装工事（講評）

● 第4回 令和元年10月31日(木)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 東海環状自動車道建設工事
工事名等 大野神戸～大垣西間舗装工事 世紀東急工業(株)
参加者 19名



東海環状自動車道建設工事

● 第5回 令和元年11月12日(火)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 東名高速道路保全工事
工事名等 豊田管内維持修繕業務 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
豊田管内舗装補修工事 東亜道路工業(株)
参加者 18名



東名高速道路保全工事

中部緊急防災協会 通常総会



日本道路建設業協会中部支部の会員らで構成される中部緊急防災協会は、5月20日に通常総会を名古屋ガーデンパレスで開催し、平成30年度事業活動報告・決算、令和元年度事業計画・予算などが審議され、承認されました。

総会では、測上彰恭会長が阪神淡路大震災や東日本大震災への当協会の支援活動に触れ、「頻発している自然災害への迅速な対応が協会の役割であり、防災・減災の担い手となる地域建設業が活躍するための環境整備が重要である。」と挨拶され、総会に参加した会員企業全てが当協会の社会的役割・存在意義について改めて認識する総会となりました。

■令和元年度 中部緊急防災協会 役員

役職	氏名	会社名及役職
会長	測上彰恭	世紀東急工業株式会社名古屋支店 常務執行役員支店長
副会長	福島憲二	株式会社NIPPO中部支店 常務執行役員支店長
常任理事	大高圭介	花菱建設株式会社 専務取締役
〃	國島太佳生	株式会社市川工務店 取締役営業部長
〃	中野谷眞己	大有建設株式会社 取締役常務執行役員 建設事業本部長
〃	難波陽一	中部土木株式会社 代表取締役社長
〃	秦 純二	朝日土木株式会社 代表取締役社長
〃	松村高志	東亜道路工業株式会社中部支社 常務執行役員支社長
〃	山本正樹	株式会社ガイアート中部支店 執行役員常務支店長
〃	安野正和	吉川建設株式会社 常務取締役施工統括部長
理事	奥村 宏	日本道路株式会社中部支店 支店長
〃	鈴木克也	大成ロテック株式会社中部支社 理事支社長
〃	神野晋也	昭和土木株式会社 代表取締役社長
〃	中井俊彦	中井土木株式会社 代表取締役社長
〃	土屋 聡	前田道路株式会社中部支店 常務執行役員支店長
〃	松居 広	岐建株式会社 取締役営業本部長
〃	森 俊二	大林道路株式会社中部支店 執行役員支店長
監査理事	高畑一幸	株式会社佐藤渡辺中部支店 支店長
〃	永田徹也	鹿島道路株式会社中部支店 執行役員支店長
参与	中森栄輔	中部土木株式会社 常務執行役員 工事副本部長
〃	藤澤宏行	株式会社市川工務店 顧問
〃	前田和弘	大有建設株式会社 執行役員技術部長



測上会長 挨拶

■中部緊急防災隊〈役員〉

本部長	測上彰恭	世紀東急工業(株)
副本部長	福島憲二	(株)NIPPO
隊長	中野谷眞己	大有建設(株)
副隊長 事務局長	山本正樹	(株)ガイアート

■中部緊急防災隊〈地区責任者・事務局〉

愛知地区	責任者: 中野谷眞己 大有建設(株) 事務局: 山本忠義 大有建設(株)
岐阜地区	責任者: 牧野智一 (株)市川工務店 事務局: 上田昇司 (株)市川工務店
三重地区	責任者: 秦 純二 朝日土木(株) 事務局: 濱口 健 朝日土木(株)
静岡地区	責任者: 大高圭介 花菱建設(株) 事務局: 大高庄之助 花菱建設(株)
長野地区	責任者: 安野正和 吉川建設(株) 事務局: 清水博通 吉川建設(株)

中部緊急防災隊式典

防災隊式典・班長会議

愛知、岐阜、三重、静岡、長野の中部5県から道路事業に携わる企業で結成されている中部緊急防災隊は、7月26日に名古屋ガーデンパレスで防災式典を開催しました。来賓に中部地方整備局、名古屋高速道路公社、中日本高速道路株式会社、道建協本部からお招きし、隊員約150名が集結して式典は厳粛に開催されました。

式典では、湊上本部長が「災害応急対策の支援に関する協定のもと災害に対応し、緊急連絡体制を強化する」と訓示し、来賓の山根中部地方整備局統括防災官、佐藤道建協本部環境安全委員長から祝辞を頂き、最後に中野谷隊長による綱領朗読をもって、式典は閉会しました。

式典終了後には、山岡耕春名古屋大学環境学研究所地震火山研究センター教授から「南海トラフの巨大地震にどう備える～発生のメカニズムと防災～」をテーマに講演会を開催しました。

式典に先立ち、同会場にて班長会議が開催され、班員会議からの要望事項への対応や広報活動、防災訓練などについて説明が行われました。



湊上本部長訓示



山根統括防災官 来賓挨拶



佐藤本部環境安全委員長 来賓挨拶



式典の様子



中野谷隊長綱領朗読



班長会議



講演会

防災訓練

南海トラフ巨大地震に備えて5県内で防災訓練実施

日本道路建設業協会中部支部の会員らで構成する中部緊急防災隊は9月2日に愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県内で防災訓練を実施しました。

訓練は、和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震の発生を想定し、日本道路建設業協会中部支部の会議室に災害対策本部を設置し、伝達訓練や実動訓練を行いました。

訓練の内容は、災害対策本部長の指示を5地区

16班に伝達する確認と報告を行い、伝達を受けた各地区では、給水タンクと資機材の点検、保管状況を確認し、災害対策本部に報告し訓練を終了しました。

中部緊急防災隊は、自然災害などの緊急時に道路管理者と協力して災害時において道路路面の確保などの緊急・応急対応に従事します。



対策本部



小牧基地：訓練開始



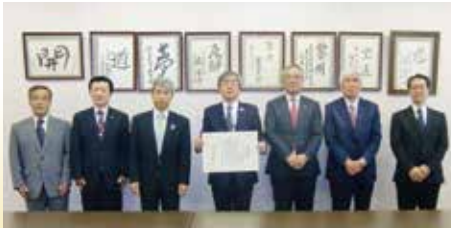
小牧基地：給水タンク点検

中日本高速道路名古屋支社から

安全パトロールに感謝状の贈呈

当協会では、1994年に起きた名神高速道路集中工事での事故を受け、旧日本道路公団の協力も得て安全パトロールを開始し、建設工事・保全工事の安全第一を念頭に安全点検を行い、今年で25年目を迎えました。

永年実施している安全パトロールの取組に対し、4月22日近藤名古屋支社長から感謝状の贈呈を受けました。これまでの25年間に207箇所、延べ参加者は1000人を超え、労働災害防止に大きく貢献したことが認められました。



日本道路協会 道路功労者表彰伝達式

日本道路協会の表彰は、過去に日本道路建設業協会から技能社員表彰を受賞された方を対象に各支部から本部に推薦し、日本道路協会において道路功労者表彰に決定されたものです。

本表彰は、昭和26年度より道路整備事業の推進等に尽力された団体及び個人に行っており、毎年、8月10日の「道の日」に合わせて表彰伝達式を実施しております。

今年は、中部支部から6名の方が受賞となり8月6日に伝達式を行いました。

表彰授賞者の皆様を紹介致します。
おめでとうございます。

株式会社ガイアート
株式会社佐藤渡辺
東亜道路工業株式会社
前田道路株式会社
前田道路株式会社
前田道路株式会社

一柳 英明 様
都竹 利文 様
落合 良光 様
木野本 雅人 様(欠席)
吉田 頼寿 様
岩崎 誠示 様



道建協の 社会・環境 貢献活動

当協会では、2007年に社会貢献活動指針を策定し、全国的な取組みとして、道路利用の安全・安心を確保する目的で、道の駅に[AED]の寄贈を始め、2015年からは「小型発電機」も贈呈しています。これまでに管内の5県にAED15台、小型発電機6台を寄贈しました。今年度は、以下の8カ所の道の駅に小型発電機を贈呈します。



【道の駅 小型発電機の贈呈】

- ① 岐阜県 中津川市／加子母
- ② 岐阜県 関市／むげ川
- ③ 岐阜県 土岐市／志野・織部
- ④ 岐阜県 下呂市／飛騨金山めく森の里温泉
- ⑤ 三重県 松阪市／茶倉駅
- ⑥ 三重県 紀北町／紀伊長島マンボウ
- ⑦ 愛知県 田原市／田原めっくんはうす
- ⑧ 愛知県 幸田町／筆桶の里・幸田



昨年の贈呈式

会員だより

バリ芸能でひとと繋がる 東亜道路工業(株)中部支社 菅野 岬

私は、大学時代の趣味であったバリ舞踊を最近また習い始めました。バリ舞踊と言われてもピンとこないかもしれませんが、その名の通り観光地として有名なインドネシアのバリ島の伝統舞踊です。この舞踊は、ガムランと呼ばれるインドネシアやマレーシアの伝統音楽に合わせて踊ります。ガムランとは、鍵盤打楽器を主に構成される合奏音楽で、現地では神に奉納するために宗教儀礼において演奏されたり、観光客に対して上演されたりするような形で愛好されています。民族音楽ブームによって世界中に広まり、日本国内には意外にも118セットほどのガムランが存在します。そして、名古屋にもガムランはあるのです。

私が通っていた大学には偶然にもバリ島の様式のガムランがあり、サークル活動も行っていました。私はそこで初めてガムランと出会い、見たことも聞いたこともないその楽器に興味をもちサークルに所



大学文化祭(菅野・中央)

属することになりました。

ガムランの音楽は器楽曲もありますが、基本的には踊りや劇と合わせて演奏するものが多いです。そのため、サークル内でも踊り手を必要とするわけですが、部員不足ということもあり、私は踊りの練習もしなくてはならなくなりました。もともと楽器の演奏に興味があって入部し、踊りの経験もない私は全く乗り気ではありませんでしたが、はじめて人前に立ち踊ったとき、自分でも信じられないくらいの楽しさと充実感を得ました。超がつくほどの初心者私でも、独特の衣装と誰なのか判別がつかないほどの濃い化粧の力を借りて、それっぽく踊ることができた驚きと、今までの自分とは違う新しい自分を発見できたような嬉しさがあつたのだと思います。

ガムランの奏でる・うねるような響きに包まれて踊るのは、とても気持ちがよく、心が浄化されるような気がします。



気仙沼のお祭り(菅野・右端)



品川区ダンスフェスティバル(菅野・左)

編集後記

令和になって最初の「支部だより」の編集です。振り返ってみれば、平成の30年間で雲仙普賢岳の噴火、阪神淡路大震災そして東日本大震災などの震災や地球温暖化の影響と思われる台風や大雨などで、多数の尊い人命や人々の大事な財産が失われました。

災害を無くすことは出来ませんが、災害を防潮堤や災害用ダムなどの充実により減災し、一人でも多くの命を救うことは出来ると思います。まさに、その役割の重

要な一旦を担っているのが、我が建設業界です。また、災害復興で道路が寸断されてしまえば、復興作業も行うことはできません、いち早く災害地に駆けつけ道路を復旧させ、災害地に物資を届けることを可能にするのも、我が建設業界です。

社会に貢献している業界であるとの誇りを持ち、建設業界に携わる全ての者は、これから業界全体の地位向上に努めていきたいと思ひます。

連絡先

(一社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで

●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375
●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

